

(様式第4号)

上田市 西部公民館運営審議会 会議概要

1 審議会名	西部公民館運営審議会
2 日時	令和3年8月10日 午後1時30分から3時まで
3 会場	西部公民館 第5学習室
4 出席者	山崎順子会長、千野敬治副会長、須山千才委員、西田美鈴委員、溝口悦子委員
5 市側出席者	小山由紀子館長、小澤敦子次長、中部通男主査、渡邊黎央主事、柴田隆一社会教育指導員、松山あずさ社会教育指導員
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年8月11日

協 議 事 項 等

1 開会

2 会長あいさつ

3 討議事項

(1) 令和2年度事業実績、令和3年度事業計画について

(事前送付資料について、公民館職員から前回会議配付時からの変更点を説明)

(委員) 特になし

(2) 諮問事項について

(事務局) 9公民館統一の内容である。コロナ禍とあるが、レベルが緩やかな時も、with コロナ、after コロナも見据えてお願いできればと思う。日程については今年中に骨格シートから答申案作成でいかがか。

(委員) 今回の諮問は、スピード感が必要だと思うので、本日のこの会議で骨格案(公民館で作成)について一項目ずつ意見や提案を出して進めるのはどうか。

「運営上の感染対策」について

(委員) 利用者にこれまで以上にしっかり除菌清掃をしてもらう事でいいと思う。利用者団体を組織化していないのが問題だが、コロナ感染レベルに応じて対応してもらうべき。

「利用方法における感染対策」について

(委員) チェックリスト提出は、事前提出をもっと厳正に行っているのではないか。

(委員) 今までなかった事で新しい使用方法がスタンダードになってきている。チェックリストは継続すべきことで、マンネリ化しても再度徹底すべきである。

「講座の持ち方」について

(委員) 人気講座がすぐ定員に達してしまう件は、コロナ禍で定員数を減らしているなら、開催回数を増やすのも1案。

(委員) (西部公民館は) Wi-Fi 環境が整っていないようだが、コロナを機にオンラインを前提とした自主事業や講座がスタンダードになっている。

(委員) リアルタイムの zoom も有効だか、録画のオンデマンド配信での講演会開催も今後検討して欲しい。

「学校支援ボランティア(コミュニティスクール)」について

(委員) 学校によって支援して欲しいことが違う。学校の事情に応じた支援をしていく、という姿勢でよいと思う。

公民館は、学校とボランティアとのかけ橋であること、風通しのいい環境をつくること

一番大切で、新たな支援を考える必要はないと思う。

「人権同和教育事業の開催」について

(委員) オンデマンド配信で視聴し、感想を出してもらおう活動を視野にいれたらどうか。このような時代でも、人権教育(研修)は止めるべきではない。

(委員) これまではコロナ感染者への攻撃に対する警鐘が主な啓発活動だったが、今はワクチンを打つ・打たないが問題視されている。時代に沿った内容でこれからも啓発をして欲しい。

「青少年育成事業の開催」について

(委員) 「人権…」と同様である。

「分館活動のあり方」について

(事務局) 主に分館主事会が計画・開催する5つのスポーツ事業については、具体的な方策がなく、是非持ち帰って考えていただきたい。

(事務局) この7つ以外で項目として考えられることはあるか。

(委員) 「指定避難所」としては、「公民館事業のあり方」なので今回は除外。

(委員) 「まちづくりの拠点」としては、西部地域まちづくりの会が発足してまだ歴史が浅く、地域や学校に知ってもらい、連携・協働、活用してもらう必要があることは発信していいのでは。担当職員がいるので相談をしてコミュニティを築くことも大切である。

(事務局) 本日いただいた意見を早めにまとめて、委員の皆さんにフィードバックしたい。

(3) 使用料の減免基準の見直しについて

(委員) 利用者団体は(施設)利用許可申請書の提出を免除されているため、本来かかる料金がいくらかわかっていない。利用者団体説明会などで料金表を渡すなど、丁寧に説明し、認識してもらう必要があると思う。

(委員) 本件については全会一致で概ね了承。

(4) その他 特になし

4 その他 特になし

(本会議は、新型コロナウイルス感染症の状況から、市側出席者を館長・次長以外は挨拶のみで退席させ、蜜を避けての実施とした)